

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

群馬県邑楽館林医療企業団 公立館林厚生病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分    | 類似区分          | 管理者の情報     |
|-------|---------|---------|---------------|------------|
| 条例全部  | 病院事業    | 一般病院    | 300床以上～400床未満 | 自治体職員      |
| 経営形態  | 診療科数    | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1     | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営    | 28      | 対象      | ド透訓ガ          | 救臨感災地      |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 不採算地区中核病院     | 看護配置       |
| －     | 31,885  | －       | 第2種該当         | 7：1        |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床（一般）   | 許可病床（療養）   | 許可病床（結核）      |
|------------|------------|---------------|
| 323        | －          | －             |
| 許可病床（精神）   | 許可病床（感染症）  | 許可病床（合計）      |
| －          | 6          | 329           |
| 最大使用病床（一般） | 最大使用病床（療養） | 最大使用病床（一般＋療養） |
| 302        | －          | 302           |

|                |
|----------------|
| ■ 当該病院値（当該値）   |
| － 類似病院平均値（平均値） |
| 【】 令和5年度全国平均   |

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

| 機能分化・連携強化<br>（従来の再編・ネットワーク化を含む） | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|---------------------------------|-----------|-----------|
| － 年度                            | － 年度      | － 年度      |

## I 地域において担っている役割

当院は邑楽館林地域の中核病院として、救急や急性期疾患の治療をはじめ、回復期リハビリテーションや地域包括ケアを行う病棟を備えており、急性期から在宅を見据えたりハビリまで提供可能な体制を有している。さらに災害拠点病院として災害派遣医療チームの組織や、第二種感染症指定医療機関として感染症病棟を整備するなど、緊急事態に対して地域の安心・安全を確保する役割を担っている。

また、地域の中核病院として、地域の患者に対し適正な医療を継続して提供するため、病医院等との連携を推進・強化する役割も有している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

医療収益は前年度に比べ改善しており、それに伴い④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は、微増であるが改善が図られた。しかし、医療費用である職員給与費、材料費が前年度に比べ増加したことにより、⑦職員給与費対医療収益比率、⑧材料費対医療収益比率が増加となった。このように前年度に比べ、医療収益は増収となったものの、医療費用の増加がそれを上回る結果となり、②医療収支比率が減少することとなった。さらに新型コロナウイルス補助金の減少もあり、①経常収支比率が減少することとなり、⑨累積欠損金比率が増加することとなったが、全国平均は下回っている。

### 2. 老朽化の状況について

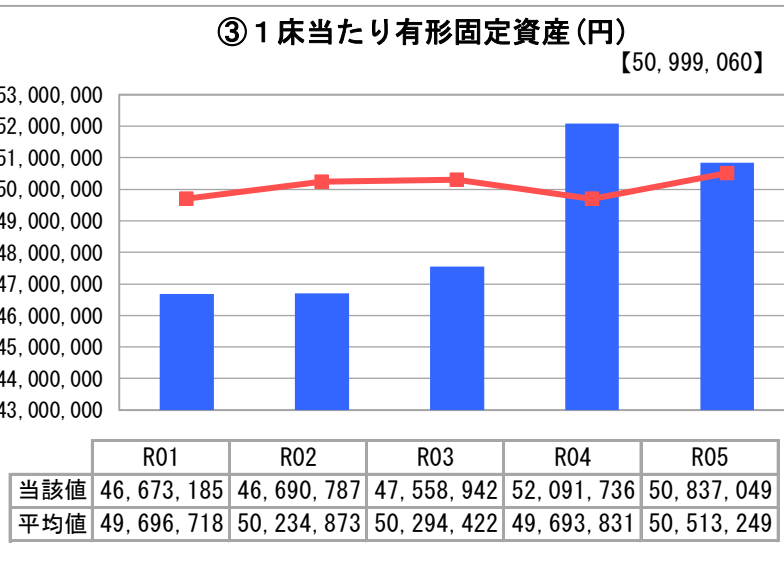
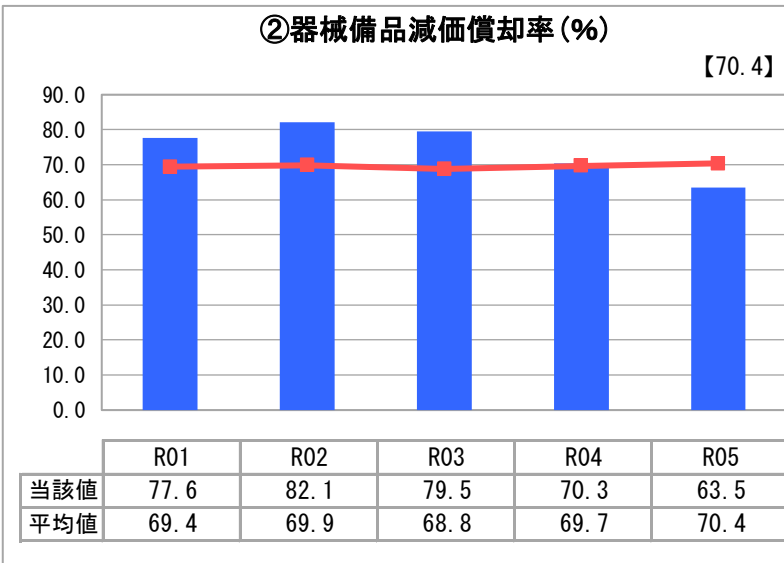
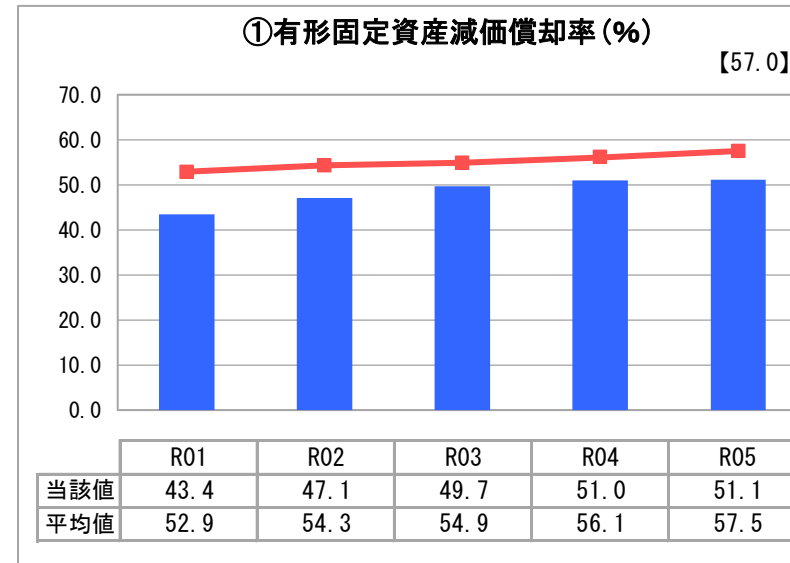
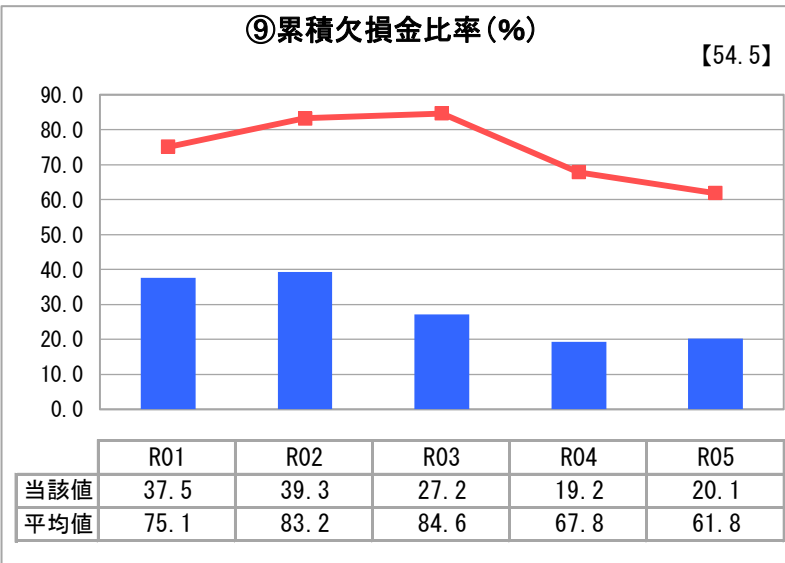
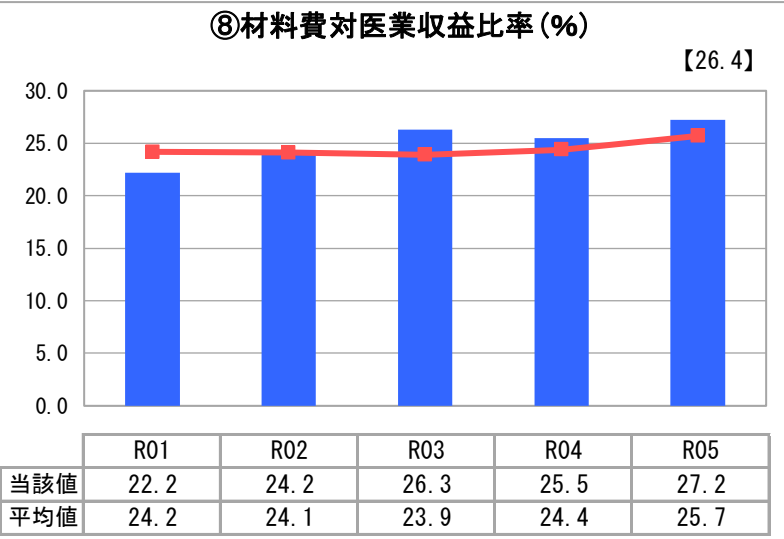
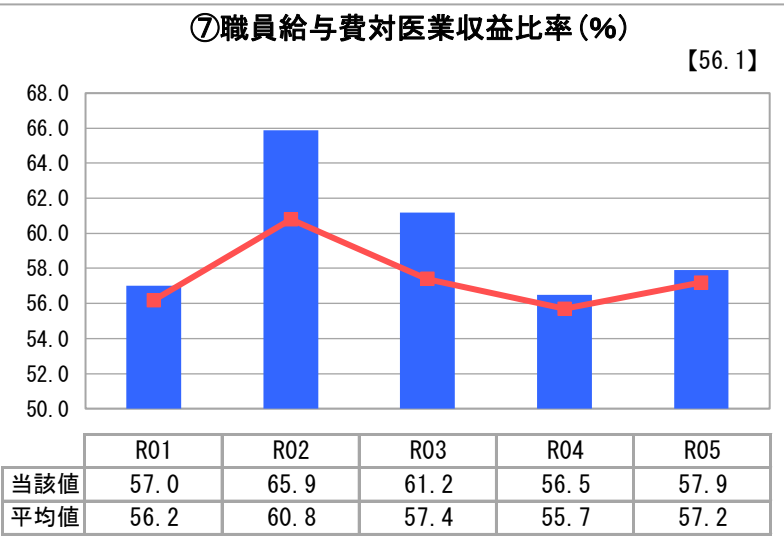
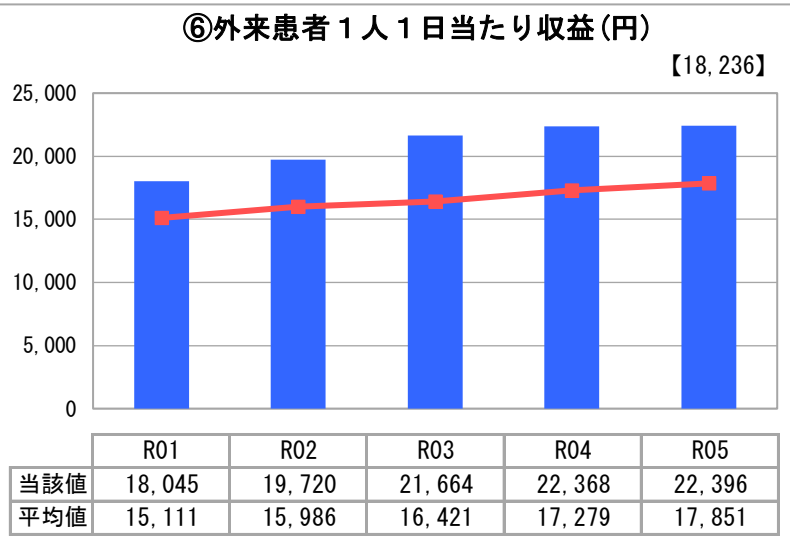
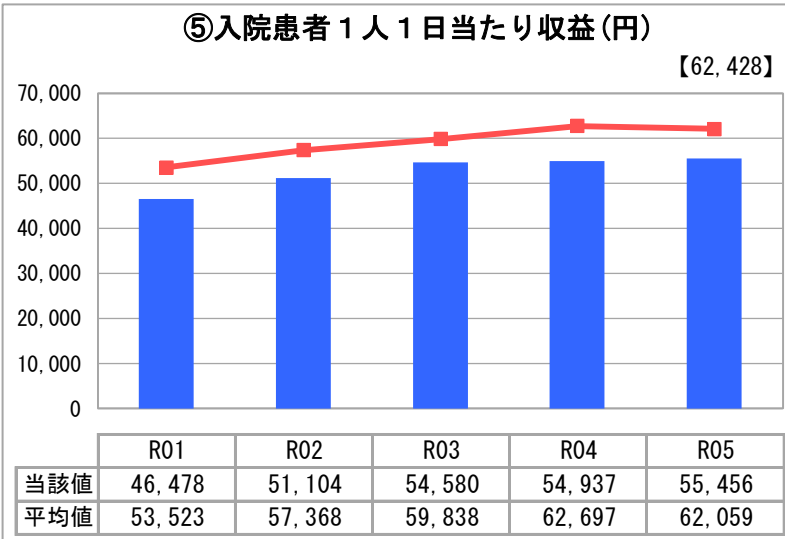
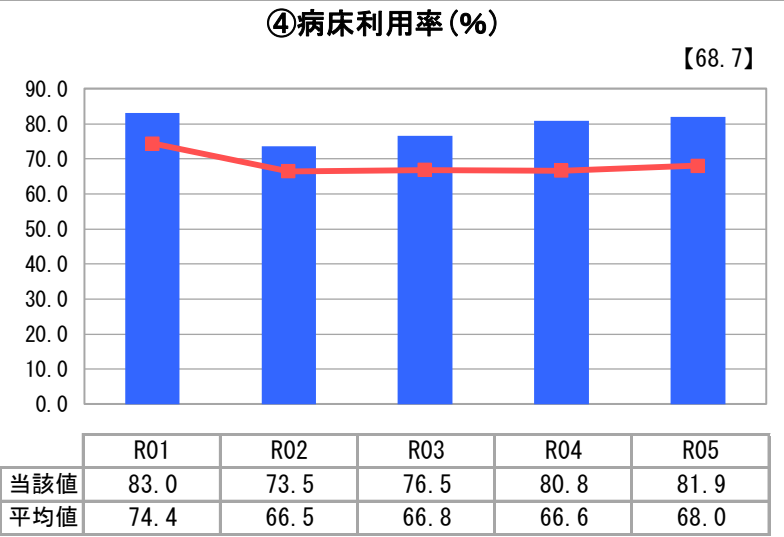
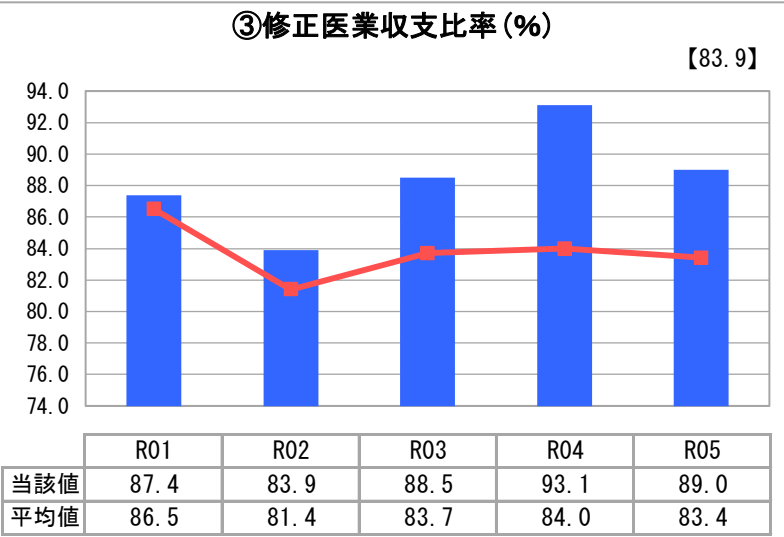
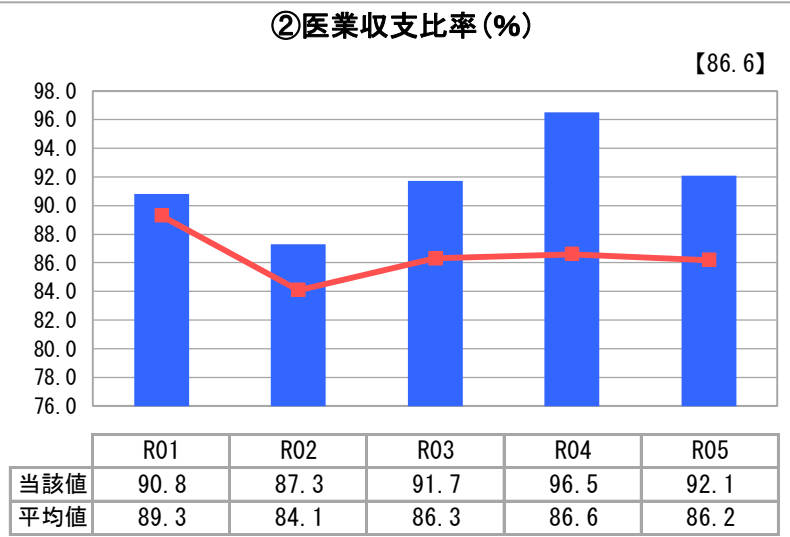
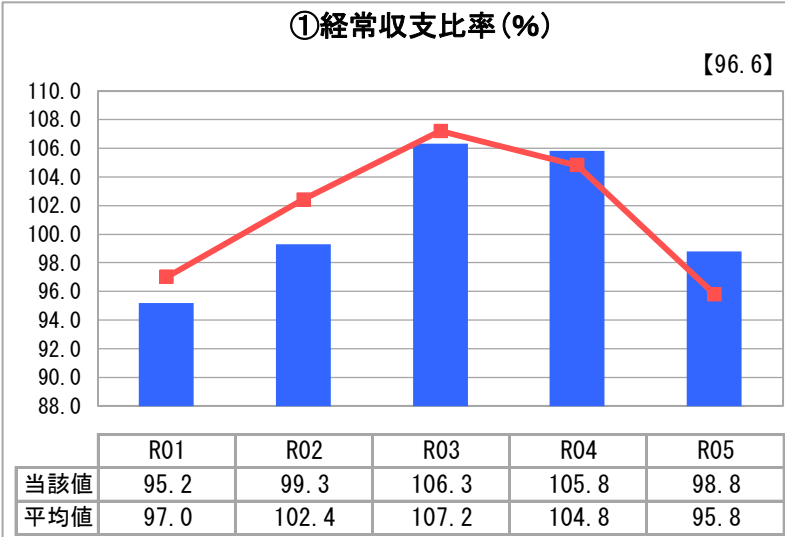
③の1床当たり有形固定資産は、適正に除却を行ったことなどにより、全国平均値程度まで改善した。①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率は、継続して全国平均を下回っている。今後においては、経年による償却率、老朽化に伴う修繕費の増加が予想されるが、医療機器導入における地域のニーズを考慮した優先順位を含めた計画の策定などを踏まえ、効率的な設備投資を行っていく。

### 全体総括

医療を取り巻く環境は依然として厳しい状況であるが、継続して常勤医師の確保に努め、救急患者の積極的な受け入れや、地域医療機関との連携を強化し患者数の増加を図り、経常収支比率等の経営指標を改善させ、健全な運営を行っていく必要がある。

また、公立病院として地域医療の充実を目指し、住民が必要とする様々な医療ニーズに応えることや、回復期リハビリ病棟や地域包括ケア病棟を活用した在宅復帰支援なども含めた地域完結型医療の推進を図っていく。

### 1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。